

ほうきとして使われていた植物。

<植物名>

カルナ(カルーナ)

ギョリュウモドキ

総称

水やり

土の表面が乾いたら水を与える。

置き場所

日本の真夏の暑さには弱いので半日陰へ。

用土肥料

特記事項なし。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

挿し芽

冬越し

耐凍性は強い。

使い方 鉢植え、盆栽

学名 Calluna

英名 heather、ling

属名 ギョリュウモドキ

科名 ツツジ

性状(分類) 低木

原産地

花の色 白、ピンク、黄、藤

開花期

購入時期

草丈 20～50cm

ID 178

季節

JFコード 11932



冬越しと置き場所

荒地や湿地などに生息していた植物。耐凍性は強いが、日本の真夏の暑さには弱い。半日陰に置くと良い。

その他の解説

特徴1

枝の形が細く、細かく分かれているためほうきとして使われていた。土の表面が乾いたら水を与える。

特徴2

枝の形が細く、細かく分かれているためほうきとして使われていた。そのためギリシア語で「掃く」という意味の言葉から名前が付いた。エリカに良く似た草姿だが、違う種類。